

第2回 FC-Cubicオープンシンポジウム

国立研究開発法人新エネルギー産業技術総合開発機構様(以下、NEDO)との共催、経済産業省様、燃料電池実用化推進協議会様(以下、FCCJ)公益社団法人電気化学会様の後援の下、燃料電池に関する産業界の技術課題を共有し、その解決のために幅広い知見を結集することを目的として「第2回FC-Cubicオープンシンポジウム」を10月27日(火)にオンライン形式で開催しました。

本シンポジウムは、NEDO 原 大周様のご挨拶に始まり、世界動向として みずほ情報総研の米田雅一様より燃料電池の飛躍的な普及拡大に向けた多用途展開の世界情勢に関する講演をいただきました。また、技術動向として 宇宙航空研究開発機構(JAXA)の内藤 均様より、開発中の月面モビリティ「ルナクルーザー」に求められる燃料電池特性と技術要素について講演をいただき、両講演について参加者の皆さんとの活発な質疑が交わされました。



原様によるご挨拶



米田様によるご講演



内藤様によるご講演

後半セッションでは第1回に引き続き、課題共有2020として「水素貯蔵と関連技術」についてワークショップを開催しました。移動体水素貯蔵の課題とニーズ(高圧貯蔵・液体水素・新規貯蔵材料)について、トヨタ自動車の高見昌宜様、大神敦幸様、本田技術研究所の漆山雄太様による技術領域毎の講演をいただくと共に、東京大学の吉川暢宏様より高圧貯蔵技術に関する研究と提言についての講演をいただきました。講演後、口頭の質疑に加え、配信アプリケーションを用いたチャットによる質疑時間を設けることで、より多くの参加者の皆様との意見交換を実現しました。双方向通信で約100名、ストリーミング配信で延べ800名超のご参加をいただく中、同時開催としてアカデミアの皆様のご研究室とオンライン接続するリモートポスターセッションも開催し、こちらも多数のアクセスをいただきました。



高見様によるご講演



漆山様によるご講演



吉川様によるご講演



大神様によるご講演

※会場内の換気/ソーシャルディスタンスを確保した上、マスクを外してご講演いただいております。

リモート ポスターセッションにご参加いただいたアカデミアの皆様



FC-Cubicでは次回以降も皆様からのご意見、ご要望をいただきながら、水素関連技術・燃料電池技術のオープンコミュニティを実現すべく、シンポジウムを開催して参ります。

第3回につきましては外部会場とオンラインで結び共同開催する予定で準備を進めております。あらためまして皆様にご案内いたしますので、よろしくお願い申し上げます。次回以降も多数のご参加をお待ちしております。



第2回FC-Cubicオープンシンポジウム配信会場の様子

※会場内の換気/ソーシャルディスタンスを確保した上、マスクを外してご講演いただいております。